

令和
4年度

当初予算を可決

過去最大規模 2兆1,529億円(一般会計)
 < 服部誠太郎知事 就任後 初編成となる当初予算 > (7面に詳細)



議場で提案理由の説明を行う服部誠太郎知事

(提案理由説明から抜粋)

令和4年度当初予算は、国の経済対策を最大限活用した令和3年度2月補正予算と一体的に編成し、令和3年度12月補正予算と合わせ16カ月予算として、「新型コロナ危機を克服し、安全で強靱な地域をつくる」、「世界を視野に、未来を見据えて、新しい一歩を踏み出す」及び「誰もが安心して暮らせる福岡県をつくる」ために、切れ目なく全力で取り組んでまいります。

併せて、財政の健全化を着実に推進いたしますため、「財政改革プラン2022」を策定いたしまして、これに沿ったメリハリの効いた予算編成を行いました。

ふくおか
県議会だより第
43
号福岡県議会
ホームページ<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp>

携帯電話向けサイト

<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>

令和4年度当初予算のポイント

- 令和4年度当初予算と国の経済対策を最大限活用した令和3年度2月補正予算を一体的に編成
- 令和3年度12月補正予算と合わせた、切れ目ない16カ月予算により、
 - ・新型コロナ危機を克服し、安全で強靱な地域をつくる
 - ・世界を視野に、未来を見据えて、新しい一歩を踏み出す
 - ・誰もが安心して暮らせる福岡県をつくる

一般会計
歳入歳出規模

[過去最大の規模]	
当初予算	2兆1,529億円 (前年度比168億円、0.8%増)
2月補正予算	274億円
12月補正予算	868億円
16カ月予算	2兆2,672億円
2月定例会提案額	2兆1,803億円

当初予算案は、2月定例会の会期中、議会の議決により設置された予算特別委員会に一括付託され、審査が行われました。(6面に詳細)



令和四年二月

定例会の概要

2月定例会は、2月21日に招集され、3月24日まで32日間の会期で審議が行われました。

2月24日に始まったウクライナ侵攻について、3月1日にはいち早く「ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議案」が提出され、可決されました。閉会日には、議長が、ロシア軍によるウクライナ侵攻及び3月16日の福島県沖を震源とする地震によりお亡くなりになられた方々に対して哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた方々に対してお見舞いの言葉を述べました。さらに、ロシア軍の武力行使の即時停止と軍の撤退を求めるとともに、ウクライナの恒久平和をお祈り申し上げました。

今定例会には、国の経済対策を最大限活用したものの令和3年度補正予算議案2件、これと一体的に編成を行い、令和3年度12月補正予算と合わせた16カ月予算となる令和4年度当初予算議案20件、条例議案18件、専決処分したものについて報告し承認を求める議案1件、契約の締結に関する議案3件、経費負担に関する議案2件、その他の議案15件、人事に関する議案2件、計63件の議案と諮問1件が提出されました。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ事業費がほぼ確定した経費を減額することともに、県税収入の増加などによる収支改善の一部を財政調整基金等3基金に積み立てるほか、年度内に措置する必要がある経費を補正するためなどの令和3年度補正予算議案14件、条例議案1件、経費負担に関する議案9件の計24件が追加提案されました。

審議に当たっては、新年度予算編成の基本的な考え方、新型コロナウイルス感染症対策、環境問題、農林水産問題、教育問題など県政全般にわたり活発な論議が交わされました。

また、3月8日に予算特別委員会が設置され、付託された「令和4年度福岡県一般会計予算」など20件の当初予算議案について審査が行われました。

審議の結果、提出された議案87件については、いずれも原案のとおり可決、承認または同意され、諮問1件については、請求を棄却する旨の答申が決定されました。

このほか「地方議会関係ハラスメントの根絶を求める決議案」が提出され、可決されました。